

-参加費-  
**無料**  
-定員-  
**150名**

# 中高年の

— 発達課題の観点から —

# 心の危機と自殺予防

2014年3月9日(日)

10:00~13:00

香川県社会福祉総合センター  
1階 コミュニティーホール

〒760-0017 香川県高松市番町1丁目10番35号 ☎087-835-3334

仕事、親子や夫婦の関係、  
体のことなどをめぐって、  
中高年には、  
様々な心の危機がおとすれます。  
この危機について、共に考え、  
これまで築いてきた  
自分自身の在り方や周りの人との関係を見直してみませんか。

多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

## プログラム Program

10:00 開会

10:05 **基調講演** 「働き盛りの自殺を防ぐには」  
講師 筑波大学医学医療系臨床医学域 災害精神支援学講座 教授 **高橋 祥友**

10:45 **シンポジスト 1** 「働く人のメンタルヘルス」  
- 診察室から見えてくること -  
竜雲メンタルクリニック 院長 **伊庭 永二**

↓  
↓  
**シンポジスト 2** 「私にとっての家族の会」  
**福井 洋子**

↓  
↓  
**シンポジスト 3** 「引きこもりの意味について」  
香川大学大学院 教授 **藪添 隆一**

↓  
**シンポジスト 4** 「身体疾患への対応を通して」  
香川大学医学部附属病院 看護部 がん専門相談員 **中山 朝子**

11:45 休憩

12:00 **討論** コメンテーター **高橋 祥友**  
コーディネーター **黒河内美鈴** (香川県臨床心理士会副会長)

13:00 閉会

### 講師紹介

**高橋 祥友氏**

東京都生まれ。金沢大学医学部卒。精神科医。医学博士。  
東京医科歯科大学、山梨医科大学、カリフォルニア大学ロサンゼルス校（フルブライト研究員）、東京都精神医学総合研究所研究員、防衛医科大学校教授を経て、2012年より現職。  
著書に「自殺の心理学」（講談社現代新書）「サラリーマンの自殺 - 今、予防のためにできること」（岩波ブックレット）「中高年自殺 - その実態と予防のために」（ちくま新書）「自殺予防」（岩波新書）「自殺のサインを読みとる 改訂版」（講談社文庫）「精神科医がすすめる“こころ”に効く映画—シネマ処方箋」（日経ビジネス人文庫）「自殺予防へのプロの対応 - 医療従事者のための早期発見と治療」（医学と看護社）、翻訳にジョージ・A・ボナーノ「リジリエンス」（金剛出版）他多数。

### 主催

香川県臨床心理士会

### 後援

香川県 高松市 香川県教育委員会  
高松市教育委員会 香川県医師会  
香川県看護協会  
香川県自殺対策連絡協議会  
香川大学  
認知症の人と家族の会 香川県支部  
日本臨床心理士会

●お問合せ先● 香川県臨床心理士会事務局 TEL 087-891-2167 <http://www.kgwsccp.jp/>

※本シンポジウムは、香川県地域自殺対策緊急強化基金事業費補助金の交付を受けて行われます。

